

かの 葛野の鐘

図書館報 ー第 12 号ー



京都光華女子大学図書館
2005.4発行
(<http://www.koka.ac.jp/toshokan/>)

(題字は元暦校本萬葉集より集字)



1 階パソコン



2 階リラックスルーム

皆さんが使いやすい
図書館をめざします。

- ◆ 1 階閲覧室のパソコンが新しくなり、DVD も利用できるようになりました。
- ◆ 2 階閲覧室のリラックスルームをリニューアルしました。
- ◆ D 書庫の集密書架第二期工事が完了しました。



二つの図書館：個人と公共のための

図書館長 谷 口 敏 夫
たに ぐち とし お

自分自身をまとめていく。最近そういう気持ちがつよくなって、昨年（2004）からblogというインターネット上の新しいサービスに手を付けだした。私の場合は、読書記録なのだが、思いのこもった図書をひっぱり出してきて、その書名や出版社、そうして目次や内容の注記を一件一件記録していくわけである。

しかし、なにを読んだかを記録するだけでは心許ない。初めて読んだ頃と現在の感想が混在したようなメモを造り、自分自身の他の関連記事や、他の人が書いた記事とリンクを張って関係を付けていく。こうすることで、自分自身が得た知識と、それに対する反応とが明確にコンピュータの中に記録定着化され、いつしか自分自身の人生にあわせた知識の樹が姿を現してきた。それは、いわば私的な個人仮想図書館である。

図書館の世界では、公開された情報として資料があるから、万人の用を果たすために図書の配架や利用のルールは、誰にでも適用されるように固定化されている。これがあればこそ、人々は図書館を中立的な機関として安心して使える。そうでなければ、毎週図書の置き場所が変わったり、その日の図書館の気分で図書を読めなくなったりする。公正厳密なルールは各個人には束縛となるが、そのことで公共の役に立っている。

さて。新しく図書館の責任者として着任し、私はぜいたくにもこの二つがとけあうような図書館を理想としたい。つまり、万人のための図書館であり、同時に個人の個性に合わせた図書館の建築である。短期間では果たせないことだが、そのための基礎造りに手を染めてみたい。

(文学部・全学共通教育センター 情報図書館学)



初めての図書室

人間関係学部 人間関係学科

たけにしまさのり
竹西正典

小学校に入って、図書室という所があることを知りました。他の教室とは違って静かでほの暗く、天井まで高く本が積まれていました。上のほうの本は、1年生には到底手が届きません。精一杯背伸びをして手にしたのが、「秘密の花園」でした。ドキドキしながら借りて帰って読んだのですが、さっぱりわかりません。漢字が読めないのです。がんばって読み進んだのですが、結局わからないまま返却日が来しました。しょんぼりしながら図書室に行き、漢字の少なそうな本を探しました。あまり高い所の本を狙わず、やっと見つけたのがギリシャ神話でした。カタカナが多く、これなら何とか読みそうです。家で読んでみると、書いてあることがわかるのです。嬉しくって面白くて、どん

どん読んでいきました。しかし、長続きしませんでした。神様の名前と地名がやたら長くて、覚えられなかったのです。そこで、白い大きな紙に地名を書き込んで地図を作り、その上に神様の名前と行動を書き込みました。悪戦苦闘するうちに、なんだかこの話はどこかで読んだような気がしてきたのです。日本神話かな他の物語かなと思い巡らすうちにわけがわからなくなり、はるか遠い昔からギリシャ神話を知っていたような思いがしてきたのです。返却日に図書館の扉を開けると、そこはこの世の時空を越えた永遠にして無限の宇宙のように思えました。光華の図書館のカウンターを越えると、今でもあの時の不可思議な感覚に包まれます。(社会心理学)



私と図書館

短期大学部 生活デザイン専攻

のだきみよ
野田喜美代

図書館と私は、どのようにかかわってきたのであろうか。振り返ってみれば、図書館(室)との初めての出会いは、小学校の小さな図書室であった。しかし、本を借りて読むことは少なかったように思う。むしろ委員として、一生懸命に整理整頓、掃除をしていたことは今でもはっきりと覚えている。その頃に興味を持って読んだ本といえば伝記類であり、人の生き方に興味を持ったのである。中学生にもなると小説の面白さを知り、読書に没頭する日が多くなった。したがって、ほかの事は何もしなくなったのである。農家育ちの私は、農作業等を手伝うことが日課であったため、親に叱られる毎日であった。そこで逃げ場として選んだのが町の図書館であった。図書館では、自分の時間を自由に使うことができ、蔵書も沢山揃っていて、すぐ手にとることができる便利さに満足していた。自宅に部

屋を持たない私は、唯一落ち着いて、自分を見直す場(部屋)でもあった。暇なときは、本棚の一冊一冊を閲覧することも楽しみの一つであり、時間の過ぎ去るのを忘れさせてくれたことから、度々友達との待ち合わせ場所として利用したのである。短大に入学して本を“見る”“読む”ことから“調べる”ことが加わり始めると、コンピュータ導入以前の図書館では、カードボックスを引き出して1枚1枚カードを探すカード検索が多くなり、色んな角度からも探し出して調べることは、まるでゲーム的な感覚で楽しかったように思う。今ではどこからでも一瞬にして検索できるという便利な情報システムがありますが、やはり直接手に触れることのできる場、それは図書館ではないでしょうか。皆さんはどのようなかわりをお持ちでしょうか(服飾造形・基礎造形)

あなたに本が届くまで

図書館員 楠 香織

図書館にある本は、本屋に並んでいる本と少し見た目が違います。ほとんどの本にはビニールのカバーがかけられているし、ラベルやバーコードが貼ってあったりする。それにきれいな本ばかりが並んでいるわけじゃない。元は同じ本がどういう流れでこのような装いをされるのか?

図書館にやってきた本はコンピュータに登録され、バーコードシールが貼られます。図書館の本の一冊としての誕生です。次に、なるべくそのままの姿を保ってもらえるよう、ほとんどの本にブッカーというビニールのシートを本にかけます。図書館にある膨大な量の本にかかっているこのブッカー、すべて一冊ずつ手作業でかけられています。そしてコンピュータにデータを入力します。これで、たとえば著者の名字や、タイトルの一部分の単語だけを手がかりに、みなさんが

OPACで検索できるようになります。最後に、どのジャンルの本であるかを示す分類番号のついた三段ラベル、返却期限シートなども、一枚ずつ本を確認しながら手作業で貼る装備がされます。

こうして手をかけ、装われた本たちが新着図書コーナーで披露されたあと、閲覧室の書架へと配架されてゆきます。その後の運命はさまざまです。休む間もなく利用されてゆく本、何十年ものあいだ手にとってもらえない本。誰かのお気に入りの一冊になる本もあれば、心ない人によって落書きされたり、破り取られてしまう本さえあります。きれいな本、古い本・・・図書館にあるどの本も大切な一冊であることには変わりありません。そんな傷ついた姿を見つけると、悲しい気持ちになります。あなたが今日手にする本はどんな本でしょうか?いろいろな本が、必要とされる人の手元にすみやかに届くよう、図書館員は日々願っています。



私の薦めるこの一冊

『A Christmas Carol』(Penguin Classics, 1985. First published 1843)
Charles Dickens著キャロリン ライト
文学部 英語英米文学科 Carolyn WRIGHT

ディケンズの「A Christmas Carol」は1843年に出版されたものだが、とても鮮やかな作品である。私は子どものころ、短縮されたバージョンを読んでから、毎年、クリスマスの時期に読みたくなる。読みながら、必ず涙を零す。本の虫の私が一番好きな本である。この本はいろいろなレベルで楽しめる。作家の言葉使いは素晴らしい。しかし、何より楽しいのは、主人公スクルージの人生の反省と変身についてのストーリーである。その点だけ説明してみる。

スクルージは冷たい人間でけちん坊である。クリスマスは馬鹿な習慣だ、と思っている。しかし、クリスマス・イヴには、そのスクルージに思わぬ事件がおきる。亡くなった同僚マーリーの幽霊が部屋を訪れた。幽霊は財布やら現金保存箱でできた重い鎖に苦しそうに巻かれていた。生きている間お金のことばかり考えて、人に対する思いやりがなかったため、気づかずに

その鎖をこつこつと造ったものだと説明した。スクルージも鎖を造っているが、やり直すチャンスはがあると。また、スクルージの部屋にクリスマスの過去、現在と未来を見せる三つの幽霊が訪問した。昔、スクルージは楽しいクリスマスを過ごしたが、どんどん大切な人たちのことを忘れて、お金だけにはまってしまった。当時は貧乏でありながら人々は愛情があって家族に囲まれたら楽しいクリスマスを過ごせた。未来のクリスマスにはスクルージの孤独な死がある。スクルージはやっと他の人の気持ちが理解できるような人格になった。その日から寛大で楽しい生活をするようになった。筋を簡単に説明すると、何で感動するか、ピンとこないだろうが、読者にも人生の反省のチャンスを与えようと思う。是非読んでみてください。(家族社会学)

*クリスマス・キャロルはその他の出版社から刊行されている原作本や和訳本もあわせて16冊あります

『DNA ーすべてはここから始まったー』(講談社2003年)
ジェームス・D・ワトソン/アンドリュー・ベリー著 青木 薫訳よし かわ ひで き
人間関係学部 人間健康学科 吉 川 秀 樹

高校時代に生物を十分に履修しないで医学部に入ってくる学生がいると話題になったことがあるが、この傾向は医学部だけでなく栄養学系の学部でも同じであろうと思う。だから、何となく記憶にあるDNAの二重らせん構造をワトソンとクリックが発見し、その発見によってノーベル賞を受賞したワトソンの著書であると言っても、へえで終わってしまうかもしれない。この本は、DNAの二重らせん構造の発見から50年経った今、博士が生命の神秘と科学の可能性に迫った一冊である。中には、1953年、英科学誌ネイチャーに掲載された彼らの論文の写しも掲載されており、たった1ページのその論文のシンプルさに今更ながら驚嘆し、感銘を受ける。さらに、この50年間の分子生物学の発展

について教科書や講義では味わえない当時の社会背景、企業の思惑、企業と科学者、あるいは科学者間の心理が分かって非常に興味深い。バイオテクノロジーの誕生から遺伝子組換え食品、クローン牛、ヒトゲノム計画への流れだけでなく、遺伝病に対する取り組みについても言及されている。やや専門的な記述や、博士曰く「粗野な性格」ゆえの記述も所々にみられるが、分子生物学への情熱は十分に伝わってくる。

ヒトゲノムの解読が終了した今、この知識を今後どのように我々の未来へ生かしていくのか、を考える意味でも読んで頂きたい一冊である。

(食品科学・栄養科学)

467.2/DNA 2階閲覧室

✧ 数字で見る図書館の動き ✧

開館状況

年度	開館日	開館日数	入館者	貸出冊数	貸出人数
14	14.4.10~15.3.19	244	69,712	11,444	6,440
15	15.4.10~16.3.18	233	54,886	12,186	6,451
16	16.4.10~17.3.18	249	44,115	14,456	7,595

年間受入冊数 (平成16年度)

	和書	洋書	消耗図書	計
購入	3,807	573	1,245	5,625
その他	971	60		1,031
計	4,778	633	1,245	6,656

蔵書冊数 (平成17年3月現在)

	和書	洋書	計
図書	約156,900冊	約27,400冊	約184,300冊

相互利用件数

年度	複写依頼	複写受付	閲覧依頼	閲覧受付
14	181	515	48	31
15	187	715	38	25
16	272	644	47	44

レファレンス件数 (カウンター受付)

年度	学内調査のみ	学外への依頼	学外からの依頼
14	157	106	100
15	146	67	45
16	282	117	70

✧ Topics ✧

私立大学図書館協会 西地区部会 京都地区協議会 主題別研究会B（業務）を開催



平成16年9月14日（火）
午後1時30分より本学が当
番校を務め、慈光館6階の
太子堂を会場に、研究会
を開催いたしました。
京都地区と阪神地区の加
盟大学103校のうち39校48

名の出席がありました。

講演 「情報サービスの上手な利用法

：図書館員と利用者のための」

講師 京都光華女子大学 文学部教授 谷口 敏夫氏

事例報告 「図書館利用ガイダンス

－小規模図書館での取組－」

報告者 京都光華女子大学図書館員 大原 佳世

谷口先生には、現在色々なところで話題になっているblog（Weblogの略でネットワーク上での日記作成シ

ステムや記事自身をさす）のレファレンス・データベースの可能性、利用者視点の利用者教育、レファレンス・サービスの現状、レファレンス・プロセスに関する講演をしていただきました。

また、本学図書館から図書館利用ガイダンスについてこれまでの取組と現状、今後の目標などについて報告いたしました。

講演終了後に図書館見学を行いました。掲示物やちょっとした工夫について多くの方から質問等を頂戴し、本学のアイディアが他の大学図書館でも利用したいといただいていたことをうれしく思っています。様々な部署の方にもご協力いただき、なごやかな雰囲気のもとに無事終了しました。



✧ 寄贈図書一覧（平成16年1月～12月受入） ✧

寄贈者の50音順（敬称略）

＜現旧教職員（非常勤を含む）＞

朝比奈 英 夫

大伴坂上郎女

飯 沼 万里子

捨児たちのルネサンス 他

内 田 次 信

Les Trachiniennes 他

小 國 英 夫

高齢者福祉概論 他

可 藤 豊 文

真理の灯籠

加 藤 實

法隆寺 他

加 納 恵 子

女性福祉とは何か 他

木 邊 円 慈

予會、英國倫敦に在り

河 野 佐奈江

クラシック音楽による心と体の健康法 他

児 玉 允

神々の風景 他

新 宮 一 成

日本の狂気誌

清 水 康 次

芥川文学の方法と世界

高 田 正 城

人間に生まれて

竹 内 健 児

人間の内面を探る

「自己・個人内過程」 他

太郎丸 博

社会のメカニズム 他

平 川 泰 司

現代世界戯曲選集 5 他

平 田 陽 子

ストック時代の住まいとまちづくり 他

藤 田 綾 子

老人・障害者の心理 他

榊 井 幹 生

ヘレーンのロンドン日記

三 村 晃 功

中世隠遁歌人の文学研究

山 本 登 朗

伊勢物語とその周辺 他

キャロリン・ライト

非婚の親と婚外子

和 栗 了

Mark Twain and Strangers

渡 邊 愛 子

にほひぐさ 他

＜卒業生＞

本 多 清 子

羊飼いのアリオン

藤 田 尚 子

遠藤周作「沈黙」草稿翻刻

※図書の詳細はOPACで調べることができます。

※1階光華コーナーにも現旧教職員の寄贈図書があります。

※この他に、学外の方からも多数の図書をご寄贈いただきました。改めて御礼申し上げます。

✧ Information ✧

◆ 図書館満足度アンケートについて

昨年度12月から実施したアンケートの結果やご意見を参考にして順次リニューアルを行っています。アンケート結果と質問やご意見の回答を図書館内に掲示しました。

◆ DVDリクエスト・キャンペーンについて

映画のDVD・ビデオを新規購入するために、皆さんが見たい作品のリクエストを実施しました。その中から投票の多かったDVDを購入しました。

◆ 図書館利用について

人事部発行の教職員証等をお持ちの教職員（非常勤講師を含む）の方は、図書館を利用される時は、事前に利用登録が必要です。図書館のカウンターで手続きをしてください。

◆ 図書館個別ツアーについて

5月の連休明けから、個別の図書館ツアーを行います。詳しいことは学内の掲示板やホームページでお知らせします。

皆さん、ぜひツアーに参加してください。

✧ Schedule ✧

4月6日（水）	図書館ガイダンス（新入生）
4月7日（木）	10：00～16：00 開館
4月8日（金）	10：00～16：00 開館
4月9日（土）	9：00より平常開館
4月11日（月）	返却期限日（春休み貸出）

編集後記

ご寄稿くださいました皆様には心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。